

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市洪川町三丁目5番地7
 (洪川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



2011/08/23

子供達の取材活動
 企業を訪問
 企業も協力
 平成二十三年八月二十三日
 矢田川の宮下橋上流左岸に位置する、雑菜等の古紙をリサイクルして新製品を開発している、株式会社エコーパークに訪問見学させてもらいました。
 矢田川に一番多くの排水を流している工場であり、今後の会社の環境排水について質問いたしました。



2011/08/23

▲エコーパーク工場内見学
 天神川では平地に近い方はまだ家庭排水浄化が整備されておらず、家庭からの汚水が川を汚染している。
 今尾橋附近では排水整備が整えおり、上流が少しでも整えば魚も増えるであろう。

▲矢田川の支流である天神川の源流平地の調査をしました。アマガク周辺は清掃むきれいに手入れされています。
 これからは支流の浄化作用を優先するよう計画する。
 矢田川宮下橋上流左岸、エコーパークから排水される水湯。排水にはバルブ、繊維や異物が含まれており廃棄物に環境破壊につながりかねず、スラッジを脱水し焼却処理し、蒸気をつくり、紙の製造工程での熱源として使用し、余剰蒸気で小規模発電をまよこしている。
 CO2測定をしたまま6ccでした。

▲矢田川に流れるエコーパーク排水をまよ



2011/08/23

▲天神川から流れる水質確認する小学生



▲矢田川に流れるエコーパーク排水をまよ